

水稻栽培で窒素肥料を より効率的に使うためには

キーワード 水稻, 水田土壌, 窒素肥料



■ 研究概要

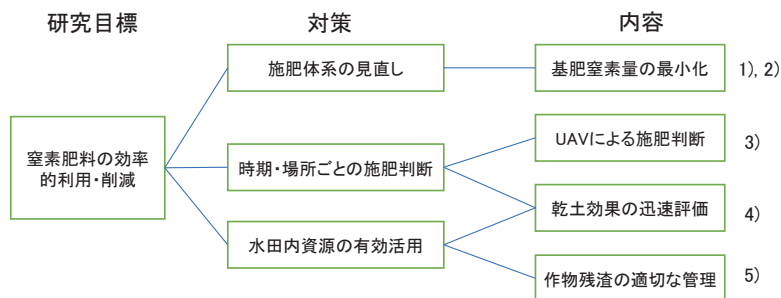
背景

- 日本を含め、世界中で窒素による環境負荷が深刻な水準に達しています。
- 世界の肥料需給のバランスがくずれ、肥料価格が高騰しています。

研究対象

- 水稻、水田土壌、窒素肥料

研究目標、対策、内容



- 1) Site-Specific Nutrient Managementの導入、改良に関する研究
- 2) 窒素肥料の施肥効率を改善するための資材施用に関する研究
- 3) ドローンの可視光画像による施肥判断に関する研究
- 4) 圃場ごとの迅速な乾土効果発現量の推定に関する研究
- 5) 作物残渣すき込み時の資材施用に関する研究

■ どのような共同研究・連携に結びつけられるか？

- ・ 可変施肥、UAVによる施肥技術との連携
- ・ 少量の窒素でも収量が維持されるような品種特性に関する研究との連携
- ・ 発展途上国における水稻栽培技術の改良に関する技術供与との連携

角田 憲一 准教授 KAKUDA, Ken-ichi

専門分野：栽培土壌学

E-mail : kkakuda@tr.yamagata-u.ac.jp

